

令和3年度

グリーン・ツーリズムネットワーク活動支援事業

報告書



令和4年3月

沖縄県 農林水産部 村づくり計画課

受託 : 特定非営利活動法人 自然体験学校

目 次

事業概要	1
実施内容		
(1) 沖縄県グリーン・ツーリズムネットワークの組織活動支援		
ア. リスクマネジメント・スキルアップ研修の実施	3
(ア) 沖縄県グリーン・ツーリズム インストラクター講習会の実施		
(イ) グリーン・ツーリズムネットワーク会員団体事務局向け研修会	8
(ウ) その他、グリーン・ツーリズム実践者や実践団体のスキルアップにつながる講習会	10
イ. 農村交流・体験プログラムの開発	10
ウ. グリーン・ツーリズムネットワーク PR 資材の作成	10
エ. その他、ネットワークの認知度向上を図る取り組みや会員のインセンティブを高めるような取り組みの実施 ・認定救急蘇生法講習会の実施	11
(2) グリーン・ツーリズムに関する情報発信とプロモーション活動		
ア. おきなわ花と食のフェスティバルへの出展	12
イ. 県内外における効果的なプロモーション活動	12
ウ. 沖縄県グリーン・ツーリズムホームページ 「さと旅ぐりーんちゅ」の活用	14
(3) 本事業終了後のグリーン・ツーリズムネットワークの自走化を見据えた仕組みづくり		
ア. ロードマップの作成	15
その他	17
総 括	20

グリーン・ツーリズムネットワーク活動支援事業

事業概要

グリーン・ツーリズムネットワークの組織活動支援等を通して、ネットワーク加入のメリットを確立し、実践者のスキルアップによる受入品質の向上、安全・安心な受入体制を整備・強化することで、農山漁村地域の活性化に資することを目的とする。

実施内容

- (1) 沖縄県グリーン・ツーリズムネットワークの組織活動支援
 - ア. リスクマネジメント・スキルアップ研修の実施
 - (ア) 沖縄県グリーン・ツーリズム インストラクター講習会の実施
 - (イ) グリーン・ツーリズムネットワーク会員団体事務局向け研修会
 - (ウ) その他、グリーン・ツーリズム実践者や実践団体のスキルアップにつながる講習会
 - イ. 農村交流・体験プログラムの開発
 - ウ. グリーン・ツーリズムネットワーク PR 資材の作成
 - エ. その他、ネットワークの認知度向上を図る取り組みや会員のインセンティブを高めるような取り組みの実施
- (2) グリーン・ツーリズムに関する情報発信とプロモーション活動
 - ア. おきなわ花と食のフェスティバルへの出展
 - イ. 県内外における効果的なプロモーション活動
 - ウ. 沖縄県グリーン・ツーリズムホームページ「さと旅ぐりんちゅ」の活用
- (3) 本事業終了後のグリーン・ツーリズムネットワークの自走化を見据えた仕組みづくり
 - ア. ロードマップの作成



沖縄県グリーン・ツーリズムネットワーク活動支援事業推進体制

・主 催
 沖縄県農林水産部村づくり計画課

・受 託
 特定非営利活動法人 自然体験学校

・委託業務の期間
 令和3年6月29日 ～ 令和4年3月28日

・実施スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1)GTNの組織活動支援		リスクマネジメント研修会調整				GTインストラクター講習会 参加者募集	※1月13～17日 中止・延期	GTインストラクター講習会参加者募集	GTインストラクター講習会3月17～20日
			※9月18日 中止・延期	10月18日					
	体験マニュアルの作成・調査・ヒアリング								
	PRチラシの作成・のりまの作成								
				認定救急蘇生法講習会参加者募集	11月28日			認定救急蘇生法講習会参加者募集	3月4日
(2)情報発信とプロモーション活動						花と食のフェスティバル 出展準備・会員団体調整	※1月22～23日 開催中止		
						エコプロ2021 出展準備	12月8～12月10日	日本観光ショールーム 出展準備	3月25～3月28日
						旅行会社訪問 修学旅行説明会	12月20日 12月23日		
	さと旅グリーンちゅの活用 (11/26・12/16・2/10・3/1・3/23・3/28)								
(3)自走化を見据えた仕組みづくり	ロードマップの作製								
その他	村づくり計画課と相談・調整・報告(随時) 進捗状況報告(7/18Web・9/1Web・9/21・1/6)								
	地域状況の調査 及び GTネットワーク新規会員加入促進								
	会員への情報収集の結果の共有 (8/18Web・8/27Web・9/6Web・10/18)								
	業務内容まとめ(随時)・会計業務・書類整備								
									事業完了 3月28日

調整機関
 実施日

(1) 沖縄県グリーン・ツーリズムネットワークの組織活動支援

ア. リスクマネジメント・スキルアップ研修の実施

(ア) 沖縄県グリーン・ツーリズムインストラクター養成講習会

グリーン・ツーリズムを実践していくために必要なリスクマネジメントを理解し、実践できるスキルの習得、農山漁村体験交流プログラム作成に必要な知識・技術を学ぶ講習会を実施した。座学で知識を得るとともに、グループワークでプログラムの立案から実施まで通して行うことで、実践に近い形で学び、沖縄県として2回目となるグリーン・ツーリズムインストラクターの養成を行った。

実施日：2022年3月17日(木)9:00～ 3月20日(日)17:30 (3泊4日)

実施場所：HOTEL OROX(ホテル オロックス)

参加費：参加費 15,000 円(食費、認定登録費、他含む)

※会場までの交通費は参加者負担

※受講料・テキスト・キット・ホテルオロックス那覇宿泊料無料

講師：全国体験活動指導者認定委員会主任講師・L.S.F.A. インストラクター3名

修了：①沖縄県グリーン・ツーリズムインストラクター

認定登録：②NEAL リーダー

③L.S.F.A. Basic Skills—First Aider with CPR&AED

※本講習会は「環境省環境教育指導者人材認定等事業」に登録

配布物：指導者テキスト・救急蘇生法テキスト・救急蘇生法キット

救急蘇生法ワークシート

※新型コロナウイルスの影響により開催日の変更があった。

・1月13日～17日を予定していたが、まん延防止措置期間が2月7日まで延長となったことから延期を決定。

<<講習会の詳細>>

スケジュール：

1日目：3月17日(木)

時間	内容
07:50～09:00	受付・名前の確認・健康チェック・抗原検査(全員) 参加費收受 名札・テキスト 配布
09:00～10:15	開催の挨拶 主催者挨拶：沖縄県村づくり計画課 長本課長 講師・スタッフ 紹介・諸注意 コロナウイルス対策について
10:15～10:30	休憩・移動
10:30～11:00	アイスブレイク
11:00～12:15	講義 「沖縄県グリーン・ツーリズムインストラクターについて」 他
12:15～13:15	昼食
13:15～14:40	環境教育
14:40～16:45	講義 体験活動の安全対策について 他
16:45～18:30	グループワーク・加点発表
18:30～	夕食・懇親会・自己紹介・グループワーク



2日目:3月18日(金)

時間	内容
09:00~12:00	救急蘇生法
12:00~13:00	昼食
13:00~14:30	救急蘇生法
14:30~17:00	グループワーク
17:00~19:00	講義 7章「体験活動の安全対策について」他
19:00~	夕食・グループワーク

3日目:3月19日(土)

時間	内容
09:00~11:15	講義 11章「指導者のための関連法令について」他
11:15~	事務局より連絡・グループワーク 適宜、グループごとに昼食・夕食

4日目:3月20日(日)

時間	内容
09:00~10:20	プレゼンテーション
10:20~11:40	実技テスト①「ナメル」
11:40~13:35	実技テスト②「ミィナ」
13:35~15:00	実技テスト③「ハルシミティ」
15:00~16:30	実技テスト④「くじら」
16:30~16:45	ふりかえり発表・講評
16:45~17:15	筆記テスト
17:15~17:30	修了証授与・挨拶(沖縄県村づくり計画課 長本課長) 記念撮影・講習会終了
17:30~18:00	申請書記入・保険加入手続き・各グループ片づけ、備品・名札の回収
18:00~19:00	事務局 会場片付け

【各チームの実技テスト】



①「ナメル(ナチュラル)」

漫湖に生息しているマングローブと各地を渡る水鳥、周辺で生活する私たちの3者の視点から解説する。マングローブと水鳥は、私たち人間より影響(ゴミ、橋の建設、外来種、植樹ボランティア)を受け、変動していることを知る環境教育体験。



②「ミイナ」

月桃は古くから沖縄の人々の生活に欠かせない植物であり、様々な効果がもたらされるとされている。その月桃を使用し、香りをバスソルトにとじ込め、ご自宅でのリラックスタイムに役立つアイテムを手作りする体験。



③「ハルシミティ」

消費できずに廃棄される沖縄県産の野菜を染物の材料として利用するプログラム。黄色(ウコン)と紫色(ハンダマ)の2色から好きな色を選んで染める体験。



④「くじら」

公園は、暮らしの中で身近に自然を感じられるフィールドである。沖縄らしい木々が立ち並ぶ環境の中でネイチャーゲーム(葉っぱじゃんけん、カモフラージュゲーム)を行い、参加者へ自然で遊ぶことの楽しさを伝える体験。



修了証授与の様子①



修了証授与の様子②

<考 察>

昨年度に続き第2回目の開催となった本講習会では、参加者全員が「沖縄県グリーン・ツーリズムインストラクター」を無事修了した。修了者は講習会を運営した NPO 法人自然体験学校が認定する「NEAL リーダー」「L.S.F.A. Basic Skills - First Aider with CPR&AED」についても同時に取得し認定を得た。また、本講習会は「環境省環境教育指導者人材認定等事業」の認定講習会として開催した。

講習会では、体験を安全・安心に受け入れる為の企画から実施に必要な知識や技術、リスクマネジメント、実施のためのスキルを学んでいただいた。座学で知識を得るとともに、グループワークにおいて実践に近い形で学び、実施者・参加者の視点から、安全管理の必要性について身をもって感じていただけたと思う。

グループワークでは、メンバーそれぞれの考え方も違うため、まとめていくことが大変な場面も多かったと思うが、参加者一人一人が、大変努力をされ、最終的にはひとつのものを作り上げ、課題を全て提出し実技テストを終えることができた。今回、地域ならではの4つの体験ができた。さらに検証・改善し、是非今後に活用できる魅力あるプログラムにブラッシュアップしていただければと願う。

コロナ禍における宿泊を伴う講習会の開催は関係者の協力が不可欠であった。無事に4日間の講習会を終了することができたのは、沖縄県農林水産部村づくり計画課の皆様、会場である HOTEL OROX 様、及びご参加いただいた受講生の皆様のご協力が大きい。

今回の講習会をもって、沖縄県グリーン・ツーリズムインストラクターの二期生が誕生した。今後の沖縄県のグリーン・ツーリズム推進に向けて、グリーン・ツーリズムネットワーク会員団体や一期生との交流や連携ができればと考える。

令和3年度グリーン・ツーリズムネットワーク活動支援事業

第2回沖縄県グリーン・ツーリズム インストラクター講習会

～沖縄でグリーン・ツーリズムのプロを目指してみませんか？～



沖縄県では、農業体験や農村生活体験をはじめとする沖縄ならではの「グリーン・ツーリズム」を推進するため、グリーン・ツーリズム実践者の人材育成と安心・安全の体制づくりを実施しています。

講習会は3泊4日の宿泊研修となっており、体験観光や保険の知識についての座学、体験プログラムの企画・実施を通し、「安心・安全」の体制でグリーン・ツーリズムの受け入れを行うために必要なスキルが習得できます。

全日程を終了すると、「沖縄県グリーン・ツーリズムインストラクター」の修了証が授与されます。

※詳しくは、「沖縄県グリーン・ツーリズムインストラクター講習会 開催要領」をご覧ください。

【グリーン・ツーリズムとは】

緑豊かな農村地域において、その自然、文化、人々との交流を楽しむ、滞在型の余暇活動。(出展：農林水産省)

【資格認定】

沖縄県グリーン・ツーリズムインストラクター修了証

- ・ NEALリーダー（自然体験活動指導者）【終身登録】
- ・ L.S.F.A. 救急蘇生法【有効期限2年間】

*修了後、希望により「指導者賠償責任保険（2,000円/1年間）」に加入出来ます。

*本講習会は「環境省環境教育指導者人材認定等事業」に認定された講習会です。

開催日 2022年3月17日(木)～20日(日)

3月17日の受付8:00～ 講習開始9:00～ ※3泊4日のため宿泊を伴います

【会場】 HOTEL OROX (ホテル オロックス)

〒901-0152 沖縄県那覇市小禄1-1-1
Tel:098-851-3712

【宿泊】 HOTEL OROX (ホテル オロックス) 個室

【受講料】 15,000円

(内訳) 受講料・テキスト・キット・宿泊3泊分・
食事(朝3回・昼4回・夜3回)・認定料(NEAL認定登録費
5,000円・L.S.F.A.認定登録費 2,750円)等

【※コロナ対策の上講習会を実施します】
基本的な感染症対策の徹底、初日受付時の抗原検査 など

【対象/定員】18歳以上/20名

- ・ 沖縄県グリーン・ツーリズムネットワーク会員及び
会員団体に所属するグリーン・ツーリズム実践者
 - ・ 県内のグリーン・ツーリズム活動団体及びグリーン・ツーリズム
実践者
 - ・ グリーン・ツーリズム(農家民宿・体験)に関心のある方(未経験
者可)
 - ・ 学生不可
- ※応募者多数の場合は、沖縄県グリーン・ツーリズムネットワーク
会員を優先させていただきます。

【参加申込み締切】2022年3月10日(木)

沖縄県グリーン・ツーリズム紹介サイト
さと旅ぐりーんちゅ

主催/沖縄県農林水産部村づくり計画課 共催/沖縄県グリーン・ツーリズムネットワーク

【お申込・お問合せ】NPO法人 自然体験学校

〈電話〉098-998-0330 〈Fax〉098-998-3808

〈メール〉okinawa@shizentaiken.com



(イ) グリーン・ツーリズムネットワーク会員団体事務局向け研修会

コロナ禍における教育旅行の現状及び課題について把握し、今後のグリーン・ツーリズムの受入体制や方向性について検討することを目的として実施した。

講師には株式会社 JTB 沖縄の北向健司氏、NPO 法人自然体験学校の若林伸一氏をお迎えし、旅行会社及び学校側、民泊等受入組織側それぞれの現状について情報提供いただき、コロナ禍における教育旅行の課題について講演いただいた。

また、事前に関係団体にアンケートを行い、講演終了後には講師も交えて参加者同士の意見交換を行った。

実施日：令和3年10月18日(月)

実施場所：沖縄県土地改良事業団体連合会総務部 4階大会議室

参加費：無料

講師：1. 株式会社 JTB 沖縄 沖縄仕入商品企画部 団体課長 北向 健司氏
2. NPO 法人自然体験学校 若林 伸一氏

参加団体：参加者 13 団体 23 名

(会員団体) 宮古島さるかの里・NPO 法人おおぎみまるとツーリズム協会
NPO 法人東村観光推進協議会・一般社団法人国頭村観光協会
一般社団法人沖縄県青年会館・一般社団法人今帰仁村観光協会
一般社団法人伊江島観光協会・NPO 法人自然体験学校
(株) リウボウ旅行サービス

(非会員団体) 伊江村役場商工観光課・(有) TM. planning もとぶ営業所
合同会社健堅・株式会社ころろ

■スケジュール

時間	内容
14:00	開会の挨拶
14:05	講演「コロナ禍における教育旅行の現状について」
15:00	休憩
15:10	意見交換会 議題：「コロナ禍におけるグリーン・ツーリズムの展開について」
16:40	閉会の挨拶

■内容

テーマ① 旅行会社・学校側の現状について

講師：株式会社 JTB 沖縄 沖縄仕入商品企画部 団体課長 北向 健司 氏

(1) 沖縄修学旅行の現状

- ・ 沖縄県における修学旅行入込状況
- ・ 来沖修学旅行減少傾向の中身
- ・ 新型コロナによる修学旅行の取消状況
- ・ 営業現場の声

(2) これからの修学旅行に求められるもの

- ・ 教育現場での「学び」の変化
 - ・ 受入事業者としての役割
- ・ 学校から示される修学旅行の仕様書 (参考)

テーマ② 沖縄修学旅行の現状と今後

情報提供：NPO 法人自然体験学校 理事長 若林 伸一 氏

- ・ 県内の状況
- ・ 県内で人気の教育民泊体験
- ・ 民泊の現状



○意見交換会

議題：『コロナ禍におけるグリーン・ツーリズムの展開について』

議長：NPO 法人おおぎみまるとツーリズム協会 理事長 宮城 健隆 氏

- ・ 沖縄県農林水産部村づくり計画課 班長 玉木 力 氏より、事前に関係団体へお送りした意見交換に関するアンケートの集計結果をお伝えした。
- ・ 本会は意見交換に関するアンケートの集計結果の内容に沿った進行となった。



<考 察>

新型コロナウイルスで大きな影響を受けている事務局にとって、旅行会社や学校の動向は大変興味のある内容であり、今後の対策の上でも役に立つ内容となった。コロナ禍のおいての民泊の受け入れについては不安があるなか、具体的なお話を伺え活発な意見交換となった。受け入れがない厳しい現状が続くうえで今後もグリーン・ツーリズムネットワーク会員間においても、情報共有が必要と感じた。

エ. その他、ネットワークの認知度向上を図る取り組みや会員のインセンティブを高めるような取り組みの実施

認定救急蘇生法講習会の実施（計2回開催）

「安全・安心」な受入れの体制整備において、受入れ時におけるお客様のケガや事故などに対応できる最低限のスキルが必要とされることから、1人でも応急手当ができる知識や技術を習得できる認定救急蘇生法講習会を2地域で実施した。新型コロナウイルスに配慮した講習会とし、手当者が新型コロナウイルスの感染を防ぐことができる応急手当の対応方法で実践した。

【第1回 南部地区】 実施日：令和4年11月28日（日）10:00～16:00
 実施場所：沖縄県立糸満青少年の家
 参加人数：12名

【第2回 北部地区】 実施日：令和4年3月4日（金）
 実施場所：ネイチャーみらい館 視聴覚室
 参加人数：14名

共通事項

カリキュラム：

09:30	受付
10:00	講習開始・挨拶 当初の観察と接触(事故現場の安全確保、感染症の防止など) 気道確保と回復体位(意識不明時の対応)/CPR/心肺蘇生
12:00	昼食
13:00	心肺蘇生と除細動、気道内異物の除去(窒息時の対応) 止血とショック管理(直接圧迫止血、止血点圧迫法)
15:00	実技確認・認定登録申請書記載
16:00	講習終了

認定登録：L. S. F. A. Basic Skills—CPR&AED

配布物：救急蘇生法テキスト・救急蘇生法キット

参加費：受講料・テキスト・キット無料、認定登録費(希望者)2,750円

講師：L. S. F. A. インストラクター



<考 察>

- ・コロナ禍においての講習会になるため新型コロナウイルス拡大防止の対策をしながら講習を行った。
- ・講習内容は、テキスト、映像、実技練習を繰り返し行い、最終的には一人一人がテキストを見なくても実施できるよう丁寧に指導を行った。
- ・参加者も積極的に実技講習に参加し、何度も練習を重ねることでしっかりと救急蘇生法を身につけることができた。
- ・新型コロナウイルスの影響もあり、応急手当の方法も感染拡大に配慮した手当が必要となる。最新の情報に基づいた講習内容とし、手当側が感染しない方法も学んだが、今後も情報は更新されていくと思われるので、コロナ禍での民泊や体験の受け入れを見据え、会員団体に向け継続的に講習会を実施する事が望ましいと考える。

(2) グリーン・ツーリズムに関する情報発信とプロモーション活動

ア. おきなわ花と食のフェスティバルへの出展

令和4年1月22～23日の開催に向け準備を進めていたが、新型コロナウイルスの影響により開催中止となった。

イ. 県内外における効果的なプロモーション活動

沖縄県外の大規模なイベントにおいて、沖縄のグリーン・ツーリズムや会員団体の紹介を行った。また、旅行会社や学校へ、訪問や説明会において直接の説明やヒアリング実施した。

①エコプロ2021（東京）

期 間 : 令和3年12月8日（水）～10日（金）
場 所 : 東京ビッグサイト（東京国際展示場） 東2～3ホール
主 催 : （一社）サステナブル経営推進機構、日本経済新聞社

②旅行会社訪問（横浜）

期 間 : 令和3年12月20日（月）
訪問先 : 近畿日本ツーリスト横浜株式会社 横浜支店
株式会社 JTB 横浜支店
東武トップツアーズ株式会社 神奈川教育旅行支店
日本旅行 神奈川教育旅行支店

③沖縄修学旅行説明会（大阪）

期 間 : 令和3年12月23日（木）
会 場 : 新大阪丸ビル別館
主 催 : 沖縄県・一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー

④第1回日本観光ショーケース in 大阪・関西（大阪）

期 間 : 令和4年3月25日（金）～28日（日）
※25日：ビジネス DAY / 26・27日：一般&ビジネス DAY
場 所 : インテックス大阪
主 催 : 「日本観光ショーケース in 大阪・関西」実行委員会
(株式会社マイナビ ほか)



エコプロ 2021（東京）の様子



沖縄修学旅行説明会（大阪）の様子



日本観光ショーケース in 大阪・関西（大阪）の様子



ウ. 沖縄県グリーン・ツーリズムホームページ「さと旅ぐりーんちゅ」の活用
 沖縄県グリーン・ツーリズムネットワークの事業について広くPRするため、「さと旅ぐりーんちゅ」
 のホームページにおいて、以下の記事を掲載し広く周知を図った。

	公開日	内容
①	令和3年11月26日	第2回 沖縄県グリーン・ツーリズムインストラクター講習会のおしらせ
②	令和3年12月16日	令和3年度救急蘇生法講習会(南部)を開催
③	令和3年2月10日	第2回 沖縄県グリーン・ツーリズムインストラクター講習会について
④	令和3年3月1日	第1回 日本観光ショーケース in 大阪・関西 参加について
⑤	令和4年3月15日	令和3年度救急蘇生法講習会(北部)を開催について
⑥	令和4年3月23日	第2回 沖縄県グリーン・ツーリズムインストラクター講習
⑦	令和4年3月28日	日本観光ショーケースに出展しました



(3) 本事業終了後のグリーン・ツーリズムネットワークの自走化を見据えた仕組みづくり

ア. ロードマップの作成

(仮称) 沖縄県グリーン・ツーリズム協会 自走のための仕組み(案)



沖縄県グリーン・ツーリズムネットワークの自走化に向けたロードマップ(案)

		グリーン・ツーリズムネットワーク活動支援事業			自走準備期間
		2020年度	2021年度	2022年度	2023～2024年度
プログラム開発	<p>体験プログラム モデル2個 合計2個</p> <p>認定救急蘇生法 55名 合計55名</p> <p>GTインストラクター 21名 合計21名</p>	<p>体験プログラム モデル3個 合計5個</p> <p>認定救急蘇生法 26名 合計81名</p> <p>GTインストラクター 22名 合計43名</p>	<p>体験プログラム モデル2個 合計7個</p> <p>認定救急蘇生法 54名 135名</p> <p>GTインストラクター 20名 合計63名</p>	<p>体験プログラム モデル8個 合計15個</p> <p>認定救急蘇生法 65名 200名</p> <p>GTインストラクター 37名 合計100名</p>	<p>体験プログラム モデル15個 合計15個</p> <p>認定救急蘇生法 200名</p> <p>体験活動リーダー 100名</p>
人材育成					
プロモーション 情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ・ツーリズムEXPOジャパン ・花と食のフェスティバル(中止) ・来場者のフォロー(コロナのためメール対応) 	<ul style="list-style-type: none"> ・花と食のフェスティバル(中止) ・日本観光ショーケース ・旅行会社訪問 	<ul style="list-style-type: none"> ・OCVBなどのイベント参加 ・ツーリズムEXPOジャパン ・花と食のフェスティバル ・来場者のフォロー/現地営業(関東・関西) 	<ul style="list-style-type: none"> ・OCVBなどのイベント参加 ・ツーリズムEXPOジャパン ・花と食のフェスティバル ・来場者のフォロー/現地営業(関東・関西) 	<ul style="list-style-type: none"> ・県村づくり計画課から事務局を移行 ・予約受入れ開始 ・事務局は当面1.5人体制で運営 ・自主財源での運営を目指す
連携拠点と調査					
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄、ふるさと百選選定地域の調査と連携 ・新規会員加入促進と新規体験拠点の可能性と調査、連携 ・情報収集と並行して、新型コロナのGT体験と教育民泊対応マニュアル作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規会員促進及び体験提供拠点組織の調査と連携方法の検討 ・会員への旅行会社や情報収集の結果の共有 ・組織化につながる課題の抽出と解決方法の検討 ・情報収集と会員のメリットにつながるマニュアル作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規体験提供拠点組織の調査と連携方法の検討 ・会員への旅行会社や情報収集の結果の共有 ・組織化につながる課題の抽出と解決方法の検討 ・各地で商品化のためのプログラムの試行 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規体験提供拠点組織の調査と連携方法の検討 ・会員への旅行会社や情報収集の結果の共有 ・組織化につながる課題の抽出と解決方法の検討 ・各地で商品化のためのプログラムの試行 ・予約の試験運用、システム構築 ・体験の受入れ開始 	<p>沖縄県GTネットワークの自走化</p>

その他

■沖縄県内のグリーン・ツーリズム関係団体への訪問・調査

グリーン・ツーリズムネットワーク会員、及び関係団体に対して本事業の説明と事業への協力依頼、またグリーン・ツーリズムネットワークへの加入促進のため、以下の団体へ訪問し直接説明を行った。

令和3年7月

ぐしちゃん銀バナナ農園 松永	松永農園
南の駅やえせ	合同会社 denen おきなわ
ヤマト石油	

令和3年8月

ぐしちゃん銀バナナ農園	羽地民泊協議会
名護市役所 農林水産部	JA ファーマーズマーケットゆんた市場
なかゆくい市場 おんなの駅	宜野座村特産品加工直売センター 未来ぎのぞ
道の駅許田 やんばる物産センター	道の駅おおぎみ やんばるの森ビジターセンター
江洲の花	名護漁港 水産物直販所
道の駅 サンライズひがし	NPO 法人 東村観光推進協議会 (会員団体)
大宜味シークワサーパーク	JA ファーマーズマーケットやんばる
今帰仁の駅 そ〜れ	観光農園 花野果
古宇利島物産センター	

令和3年9月

JA ファーマーズマーケットいとまん うまんちゅ市場	JA ファーマーズマーケット南風原 くがに市場
JA ファーマーズマーケット与那原 あがりはま市場	一般社団法人宜野座村観光協会
沖縄県農林水産部 水産課・漁港漁場課	一般社団法人沖縄県青年会館 (会員団体)
沖縄観光コンベンションビューロー	ホテルオロックス
JA ファーマーズマーケット 農連ファーム	ぐしちゃんいも生産組合

令和3年10月

ぐしちゃんいも生産組合	ネイチャーみらい館 (会員団体)
NPO 法人おおぎみまるごとツーリズム協会 (会員団体)	一般社団法人沖縄県青年会館 (会員団体)
一般社団法人宜野座村観光協会	

令和3年11月

一般社団法人久米島町観光協会	久米島町役場 商工観光課
久米島町役場 産業振興課	NPO 法人久米島ホテルの会
一般社団法人久米島版 DMO 推進協議会	

令和4年3月

一般社団法人伊江島観光協会 (会員団体)	伊江村役場 商工観光課
伊江村商工会	伊江村役場 農林水産課
株式会社こころ	伊江島観光バス 株式会社
伊江漁業協同組合 観光部会	一般社団法人 今帰仁村観光協会 (会員団体)

■グリーン・ツーリズムネットワーク 加入促進について（令和4年3月25日現在）

関係団体に直接訪問・説明し、本事業の説明とグリーン・ツーリズムネットワークへの加入促進を図った結果、令和3年度は2団体が加入し、令和4年度には新たに3団体が加入予定となっている。

- ①令和3年度新規加入団体
- ・一般社団法人今帰仁村観光協会
 - ・羽地民泊推進協議会
- ②令和4年度新規加入予定団体
- ・一般社団法人本部町観光協会
 - ・NPO 法人久米島ホテルの会
 - ・一般社団法人

沖縄県グリーン・ツーリズムネットワーク 会員団体名簿

No.	団体名	住所	TEL
1	一般社団法人国頭村観光協会	〒905-1412 国頭村字奥間 1569-1	0980-41-2420
2	NPO 法人おおぎみまるとツーリズム協会	〒905-1314 大宜味村字田港 1357-18	0980-44-1960
3	NPO 法人東村観光推進協議会	〒905-1204 東村平良 471-24	0980-51-2655
4	一般社団法人今帰仁村観光協会	〒905-0401 今帰仁村字仲宗根 230-2 今帰仁村コミュニティセンター 1F	0980-56-1057
5	羽地民泊推進協議会	〒905-1151 名護市字振慶名 158 番地	090-1941-4109
6	ネイチャーみらい館	〒904-1201 金武町金武 11818-2	098-968-6117
7	一般社団法人伊江島観光協会	〒905-0503 伊江村字川平 519-3	0980-49-3519
8	一般財団法人沖縄県青年会館 (沖縄体験交流事業部)	〒900-0033 那覇市久米 2-15-23	098-864-1780
9	琉球舞踊館うどい (有限会社エヌ・ティ企画)	〒901-1407 南城市字つきしろ 1539-247	098-949-7056
10	NPO 法人自然体験学校	〒901-0512 八重瀬町具志頭 296 番地	098-998-0330
11	合同会社宮古島さるかの里	〒906-0107 宮古島市城辺字友利 149-18	0980-77-7691
12	一般社団法人宮古島観光協会	〒906-0012 宮古島市平良西里 187 番地 2 階	0980-73-1881
13	有限会社石垣島観光	〒907-0243 石垣市宮良 1051-2	0980-86-8686

<<総括>>

沖縄には自然があふれ景観や食べ物など魅力あるものが非常に多い。観光客はもちろんのこと修学旅行生も自然や体験に触れるために来沖する。一方、受け入れる側の現状としては、安全・安心に関しての体制や基準が整っておらず、体験についてもマニュアルが整備されていない場合があると感じている。農作物の説明や注意事項を伝えずに単に収穫だけさせ、プログラムの趣旨や特徴を伝えられていないことが多い。そのため、グリーン・ツーリズムの体験として、「安全・安心」に受け入れるための基準はほとんどない状態であるといえる。

沖縄県には新型コロナウイルスの影響を受ける約2年前まで約42万人の修学旅行生が来ていたが、新型コロナウイルスの影響により全国的に修学旅行の訪問先を見直す動きが出てきており、沖縄から他地域へシフトをする傾向が高まっている。また、学校として「安全・安心」な地域での体験活動を求めており、そのような状況において、体制整備がされていない地域は訪問先を決める上で選ばれない可能性が高い。加えて、来沖時は飛行機の移動が必須で、他地域に比べて移動費が高くなるために、今後の沖縄県への修学旅行は減少傾向になると考えられよう。

将来の協会設立時には、修学旅行だけではなく、観光をマリンに依存している本県において、本土のような魅力ある農漁業体験と農家民宿を兼ね備えたグリーン・ツーリズムを一般観光客や沖縄県全体で普及させていく必要がある。

また、農業所得向上につながる仕組みや収穫に対して人手不足も深刻な課題となっており、これら課題をグリーン・ツーリズムの普及により解決できる仕組みを構築しなければならない。

この現状を打破し、今後も沖縄県への訪問を誘致するためには、「安全・安心」な受け入れの体制を作ることが必要であると認識している。本事業において、実践者向けの「沖縄県グリーン・ツーリズムインストラクター講習会」、「救急蘇生法講習会」といったリスクマネジメント研修会のほか、事務局向けのスキルアップを図るための研修会を実施した。また、統一したグリーン・ツーリズム体験の提供が行えるよう、体験プログラムマニュアル(3プログラム)の作成に重点を置いた。

今後、沖縄県のグリーン・ツーリズムの推進において、安全・安心な受け入れは不可欠であり、沖縄県グリーン・ツーリズムインストラクター二期生として22名の人材が養成できたことは大きな成果であると感じている。今後も継続して、このような人材を増やしていくことが、沖縄県全体のグリーン・ツーリズムの質の向上と誘客に繋がっていくと考える。

また、体験の受け入れには作成したマニュアルを活用することで、統一した安全・安心な体験の提供ができると思う。受け入れ時のホスピタリティの向上にもつながることから、沖縄県グリーン・ツーリズムインストラクターが体験マニュアルを活用して受け入れを行うことが望ましい。

本事業は、グリーン・ツーリズムネットワーク会員の皆様のご協力があったからこそ実施することができた。また、認知度の低かった沖縄県のグリーン・ツーリズムについて、本事業を推進していくことが、今後の沖縄県グリーン・ツーリズムの推進に必要なことと感じている。

今後、グリーン・ツーリズムや体験観光の推進をするためには、安全管理を学んだ指導者は欠かせない存在といえるため、グリーン・ツーリズムネットワーク会員団体とグリーン・ツーリズムインストラクター一期生・二期生が協力・連携を行い、また情報共有することで、今後の沖縄県のグリーン・ツーリズムを推進していけるのではないだろうか。そのためには、今後も人材育成のための支援やグリーン・ツーリズムの推進のための運営事務局の設立が必要になると考えられる。

令和4年3月

沖縄県 農林水産部 村づくり計画課

受託 : 特定非営利活動法人 自然体験学校